

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式							
AA41G021		データサイエンス入門 (Introduction to Data Science)					導入教育科目 導入・転換	オンライン(オンデマンド型)							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	1・2・3・4	医学部医学科	前期	水7	日本語		複数(共同)、オムニバス							
担当教員	氏名 甘利弘樹(基盤教育センター長), 高見利也(数理データサイエンス専門部会長) E-mail dsintro@oita-u.ac.jp 内線														
授業の概要	これからのデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事等の場で使いこなすことが要求される。この科目ではそのための基礎的素養を学ぶ。さらに、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、これらを説明し、適切に活用できるようになることをめざす。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを説明できる。														
目標2	データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ・AIを活用する価値を説明できる。														
目標3	データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを説明できる。														
目標4	適切なデータ可視化手法を選択できる。														
目標5	データ・AIを活用する際に求められるモラルや倫理について説明できる。														
目標6	個人のデータを守るために留意すべき事項を説明できる。														
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							4		2	2	2				
授業の内容															
1	社会におけるデータ・AI利活用		データサイエンスとは/社会で起きている変化(教育:市原,中原,杉山)(医:安德)												
2	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AI利活用の現場/データ・AI利活用の最新動向(経済:小野(宏))(教育:市原,中原,杉山)												
3	社会におけるデータ・AI利活用		大分大学教員における研究事例紹介/社会で活用されているデータ(経済:小野(宏))												
4	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AIの活用領域/データ・AI利活用のための技術(理工:高見,畑中)												
5	データリテラシー		データを読む(医:谷川,岩城)(保健:中里)												
6	データリテラシー		データを説明する/データを扱う(理工:渡辺 樹)												
7	データ・AI利活用における留意事項		データ・AIを扱う上での留意事項(理工:渡邊 紘)												
8	データ・AI利活用における留意事項		データを守る上での留意事項とまとめ(教育:市原,中原,杉山)(基盤セ:甘利弘樹)												
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング グループ	A:知識の定着・確認		演習課題への取り組み										工 夫 そ の 他 の	LMS(Moodle)の活用	
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		参考書等を事前に読んでおく。(8h)												
	事後学修		講義資料や参考書等を用いて復習する。演習課題に取り組む。(25h)												
	想定時間合計		33												
教科書	教科書は指定しない。														
参考書	北川源四郎, 竹村彰通 編『教養としてのデータサイエンス』講談社, 2021年 上藤一郎 著『絵と図でわかるデータサイエンス』技術評論社, 2021年														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10	
		「社会におけるデータ・AI活用」についての演習課題	50%										
		「データリテラシー」についての演習課題	25%										
		「データ・AI活用における留意事項」についての演習課題	25%										
	小テスト及びまとめテストの点数が満点の 60%以上になると単位修得条件を満たします。												
注意事項	オンデマンド型オンライン授業として実施する。 学修スケジュールをMoodleに掲載するので、必ず確認すること。												
備考	オムニバス形式の授業である。なお、本科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）の政府認定を受けた「データサイエンス基礎教育プログラム」の必修科目である。												
リンク													
	URL												